

# 日本電子×松竹 NINJA THE MONSTER

学 科 CG・映像分野

カテゴリー 産学連携

映画「NINJA THE MONSTER」は、松竹が若手監督やクリエイターの育成を目的に立ち上げたブルーラインレーベル初の海外マーケット向け作品。ハリウッドのCG・VFX業界で長年活躍してきた3人の日本人スーパーバイザーが、将来を担う学生たちに技術と経験を還元する目的で制作に協力。プロ指導のもと、CG・映像分野3学科に所属する有志の学生40名が、1年をかけて100ショットにもおよぶVFXを制作した。

トップクリエイターの技術に直に触れ、自らもクリエイターとして「仕事」をすることで、学内の授業だけでは学べない実践的な技術を習得。求められるクオリティとスピード感、チームでプロジェクトを進行していく上でのコミュニケーション力の重要性など、学生にとっては、実務に求められるスキルを再認識できる貴重な機会となった。

完成した映画は、2015年8月のファンタジア国際映画祭（カナダ・モントリオール）でのワールドプレミア上映を皮切りに、世界各地の映画祭に出品。日本国内では、同年11月の京都ヒストリカ国際映画祭で初上映後、主演を務めたディーン・フジオカさんの人気もあり、全国の映画館で上映、大ヒットを記録。学生が手がけた仕事が、多くの人の目に留まることとなった。



1年をかけて100ショットにもおよぶVFXを制作した、CG・映像分野3学科に所属する有志の学生スタッフ



学生スタッフが制作した1ショット